

模擬サイバー攻撃試験業務提案競技評価基準

模擬サイバー攻撃試験業務提案競技の評価基準を以下に示す。

1 最優秀提案者の選定方法

- (1) 対応可否表および提案価格を評価して点数化し、その合計点を「評価点」(200点満点)とする。
- (2) 評価は加点方式としており、配点された項目の合計が81点以上を合格とする。ただし、評価項目ごとの点数が下の配分表に示す最低点数未満の場合は失格とする。
- (3) 合格した提案者のうち評価点が最高点となった者を、最優秀提案者とする。

2 評価点の配分

対応可否表および提案価格を、次の配点表により評価する。必須項目および非評価項目は斜線として

評価項目			配点	最低点数	
対応可否	1	1	実施目的	/	/
	1	2	調達範囲	/	/
	1	3	実施期限	15	10
	1	4	用語の定義	/	/
	1	5	実施概要	/	/
	1	6	実施環境	25	0
	1	7	基本機能	/	/
	1	8	安全対策	10	0
	1	9	機密保持	/	/
	2	1	メール攻撃試験	20	10
	2	2	試験用マルウェアのダウンロード	20	12
	2	3	試験用マルウェアの実行	20	14
	2	4	情報流出試験	15	10
	2	5	横展開試験	30	15
	2	6	評価レポート	15	10
	2	7	報告会および問い合わせ対応	/	/
	3	1	疑義取り扱い	/	/
	提案価格		30点 × {1 - (提案価格 ÷ 契約価格の上限)} を得点とする。計算結果の小数点以下は四捨五入する。		30
合計(評価点)			200	81	

3 対応可否に係る評価基準

対応可否表の各仕様内容について、「対応可否」に「○」がついている場合は、あらかじめ定められた配点を評価点として加点する。ただし、プレゼンテーション及びヒアリングにより、「対応可否」の「○」「×」が変更される場合がある。

4 提案価格に係る評価基準

提案価格は「模擬サイバー攻撃試験業務提案競技実施要領」の「4 契約価格の上限」に示す金額以内とし、30点 × {1 - (提案価格 ÷ 契約価格の上限)} を評価点として加点する。計算結果の小数点以下は四捨五入する。